

1. 日本にとっての支援の意義

- ◎地政学的な重要性
(自由で開かれたインド太平洋、水産資源の供給、エネルギー資源等のシーレーン)
- ◎歴史的に深い関係(戦前の関係、多くの日系人が今も存在)
- ◎国際社会における日本のパートナー(国際場裡での支持)

2. 実績と成果

太平洋・島サミット(PALM)を通じた支援

- ★1997年から3年に1度、太平洋島嶼国の首脳を招待して太平洋・島サミットを開催。
- ★2018年5月第8回PALMの支援の3本の柱
 - 自由で開かれた持続可能な海洋



PALM8の様子
(写真提供: 内閣広報室)



バヌアツ・ポートビラ港の整備
(写真提供: 東亜建設工業)



違法漁業対策の研修(写真提供: JICA)

○強靱かつ持続可能な発展の基盤強化



パラオ国際空港完成予想図(写真提供: JICA)



トンガ・可倒式風力発電整備(写真提供: JICA)

○人的交流・往来の活性化

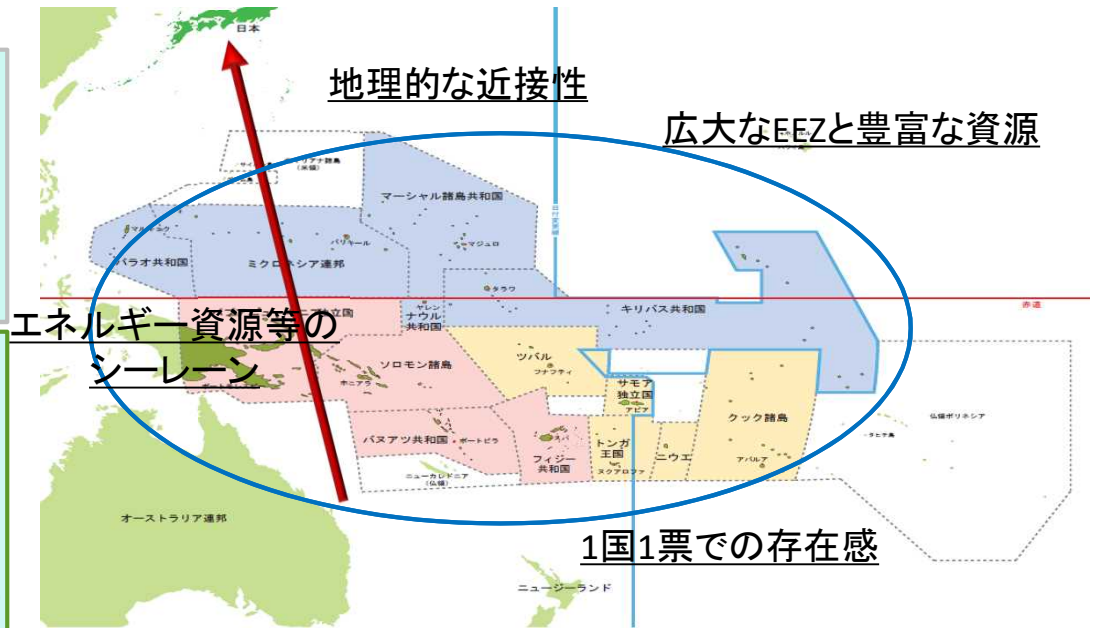


スポーツのJICAボランティア(写真提供: JICA)



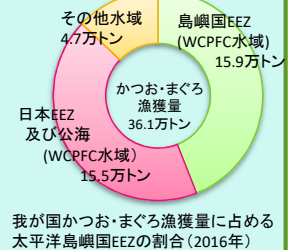
太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラムのレセプション(写真提供: JICA)

★太平洋島嶼国協力推進会議(2020年7月): ODAを含む日本政府全体としての今後の対太平洋島嶼国政策に関する方向性を取りまとめ



日本にも多面的な効果

- ★太平洋地域の平和、安定、繁栄の促進
(例) 航行の自由の確保。島嶼国地域での日本漁船の安定的操業の確保。
- ★日本の技術(防災等)の普及
- ★親日感情の醸成
(例) 国際場裡での支持。東日本大震災に際しての各国からの支援。



3. 課題の克服

(主な取組)

●気候変動・防災対策

- ・海面上昇の影響を受けやすいことに加え、気候変動による自然災害の被害の甚大化による影響が深刻
(取組例) 太平洋気候変動センターの建設、トンガ全国早期警報システム導入及び防災通信能力強化

●環境対策

- ・生活の近代化と併せた輸入増により、廃棄物の蓄積とその処理が課題。

(取組例) 大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト (J-PRISM)



太平洋気候変動センター
(写真提供: JICA)



廃棄物管理の指導
(写真提供: JICA)